

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

# 個人投資家説明会

東証スタンダード 5018 (石油・石炭製品)

2024/07/27

# 目次

- 会社概要

- 第10次中期経営計画の概要

- 株主還元

# 目次

- **会社概要**

- 第10次中期経営計画の概要

- 株主還元

名称	株式会社MORESCO
英文名	MORESCO Corporation
本社所在地	神戸市中央区港島南町5丁目5-3
設立	1958年(昭和33年)10月27日
資本金	2,118百万円
代表者	代表取締役社長 CEO 両角元寿
従業員数	[連結]821名 [単体]387名 (2024年2月末日)
売上高	31,886百万円 (2024年2月期：連結)
事業内容	特殊潤滑油、素材、ホットメルト接着剤、デバイス材料などの開発、製造、販売

本社・研究センター



赤穂工場



千葉工場



1958

株式会社松村石油研究所設立



2009

株式会社MORESCOに社名変更

松村石油研究所の頭文字をとってMORESCOとした

2001

神戸市に本社移転

2015

第2研究棟設立



1966

千葉工場を建設

1995

特殊潤滑油の海外進出



2012

ホットメルト接着剤の海外進出

1959

兵庫県西宮市に  
本社・工場を建設

1986

赤穂工場を建設

➤ 日本を軸に東南/南アジア・北米・中国を極とした海外成長市場の事業拡大を推進

国内・海外拠点数

13社 26拠点

連結従業員数

821人

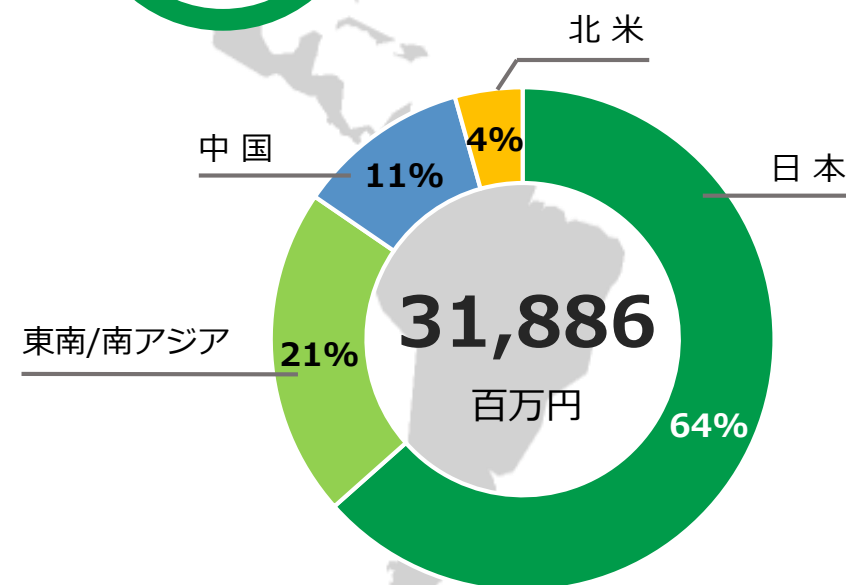
(2023年度末)

中国  
3社 5拠点

北米  
2社 3拠点

日本  
4社  
12拠点

東南/南アジア  
4社 6拠点



2024年2月期のセグメント別売上高

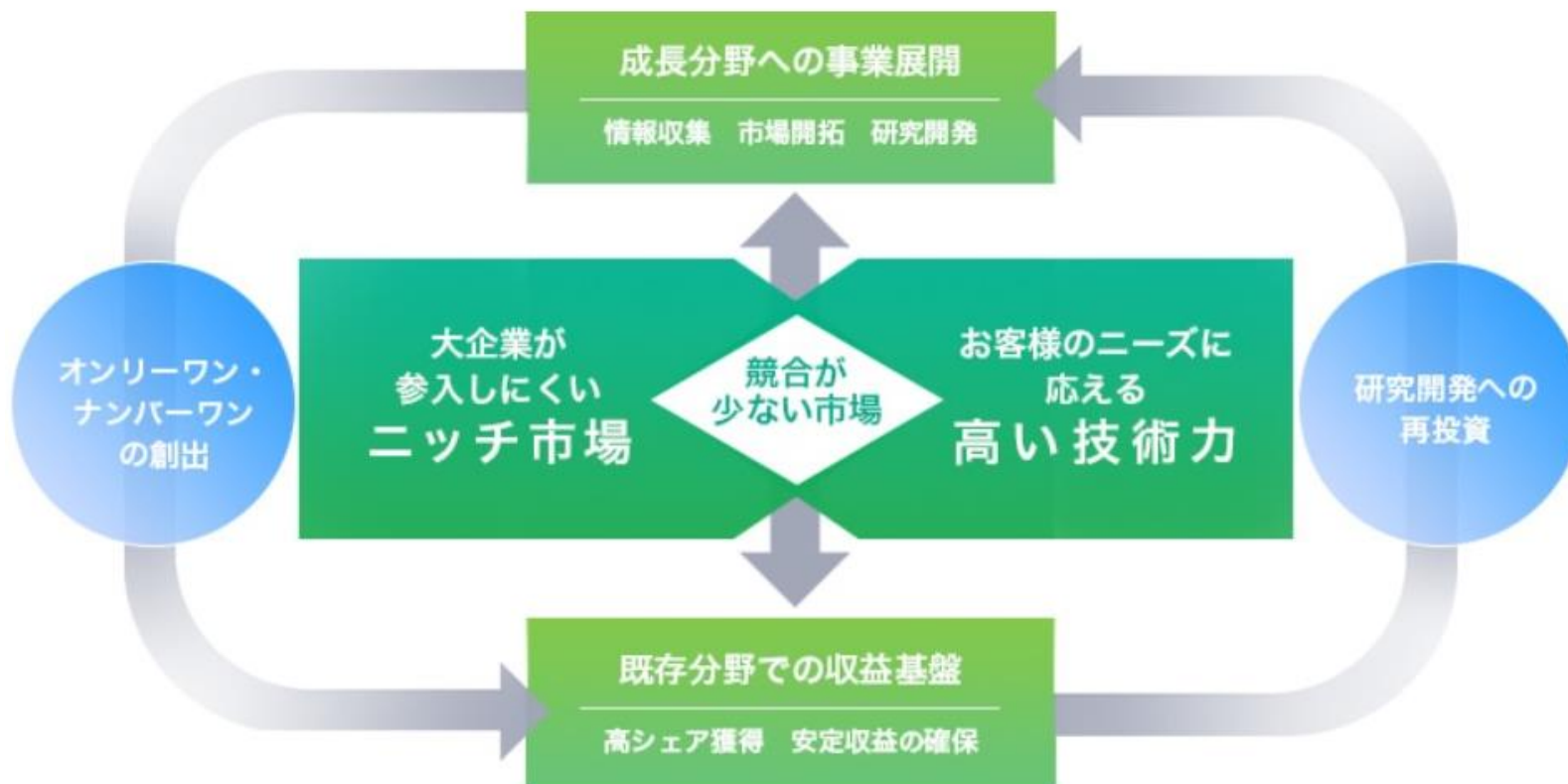
# 地球にやさしいオンラインを 世界に届けるMORESCOグループ

---

未来のために もっと化学 もっと輝く

---

- 当社は、1958年の創立以来、ブレンド・合成・精製技術を駆使し、オンリーワン製品やトップシェア製品を生み出しています



## ■ 境界領域のスペシャリスト

- モノとモノが触れ合う境界領域。当社の製品は、この“境界領域”で潤滑、接着、表面保護等の機能を果たしています。境界領域は、当社にとって無限のフィールドです
- 当社は境界領域のスペシャリストとして、世界に通用するオンリーワン製品、高付加価値製品の開発に挑戦し続けます

## 機能材事業

工場や設備向けの工業用潤滑油



エネルギー  
デバイス材料  
部門

有機デバイス分野に使われる封止材、測定装置



特殊  
潤滑油  
部門

精密機械や過酷な環境で使われる  
合成潤滑油



## 合成潤滑油事業

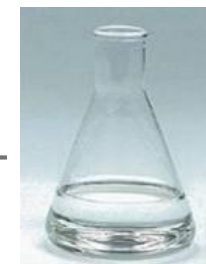
ホットメルト  
接着剤  
部門

紙おむつや粘着ラベル  
などに使われる接着剤



素材  
部門

化粧品原料に  
使われる添加剤



研究開発  
型企业

## 機能材事業

### ダイカスト離型剤

冷えて固まった金属の型離れを良くするための油剤



### 高真空ポンプ油

“真空状態”を作るためのポンプに使用される潤滑油



## 合成潤滑油事業

### 高温用潤滑油

自動車電装補機用グリース基油として世界市場でオンリーワン製品



### ハードディスク表面潤滑剤

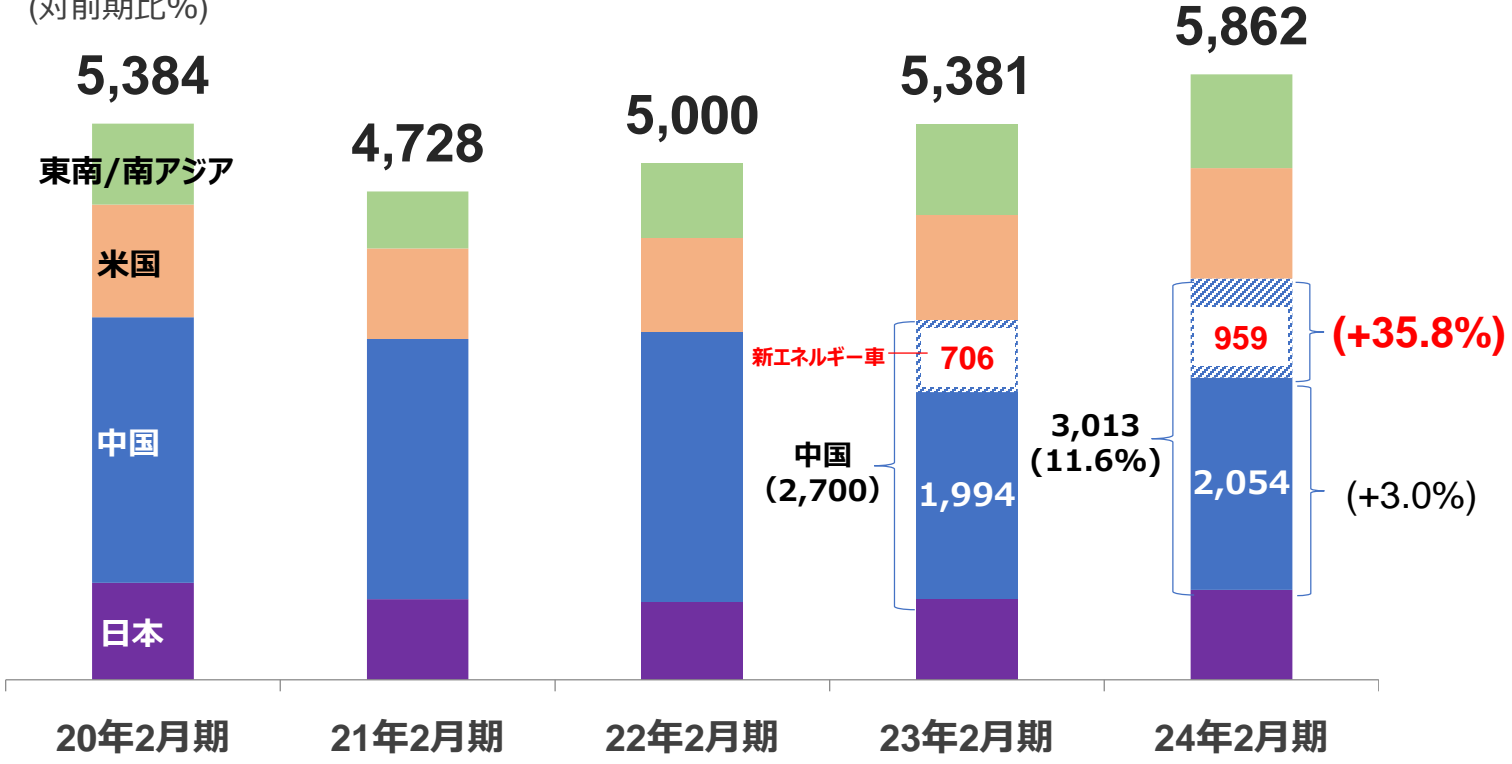
クラウドサーバ等に使用されているHDDに使用されるオンリーワン製品



➤ 新エネルギー車市場を牽引する中国で軽量化部材向け新製品を開発し、グローバル展開を図る

## 当社拠点所在地域における自動車生産台数推移

単位：万台  
(対前期比%)



出典：マークラインズ社の公表データに基づき当社作成

### 新エネルギー車に必要な自動車軽量化に貢献

- ダイカスト離型剤分野  
ギガキャスト薄物大型部品用離型剤
- 鍛造油分野  
非黒鉛系AL鍛造用潤滑剤
- 金属加工油分野  
E-アクスル、バッテリーケース向けAL用切削油剤

\*中国政府は電気自動車（EV）とプラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）を新エネルギー車に区分

## ホットメルト接着剤

加熱すると溶け、冷えると固まる接着剤  
有機溶剤を含まず環境や人体に優しい  
紙おむつ等の衛生材分野や、ラベル等の粘着材分野に展開



熱で溶けて液状に



## 主要な使用分野

衛生・日用品



自動車内装



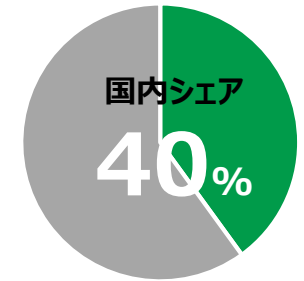
包装資材



“自動車内装向け反応型接着剤”独自構造のオンリーワン製品

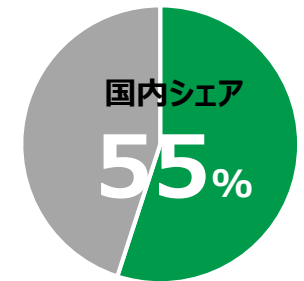
## 流動パラフィン

鉱物油を無色透明・無味無臭にまで精製した「人に優しいオイル」  
安全性が高く、化粧品原料やリチウムイオン電池膜等の分野に展開



## 石油スルホネート

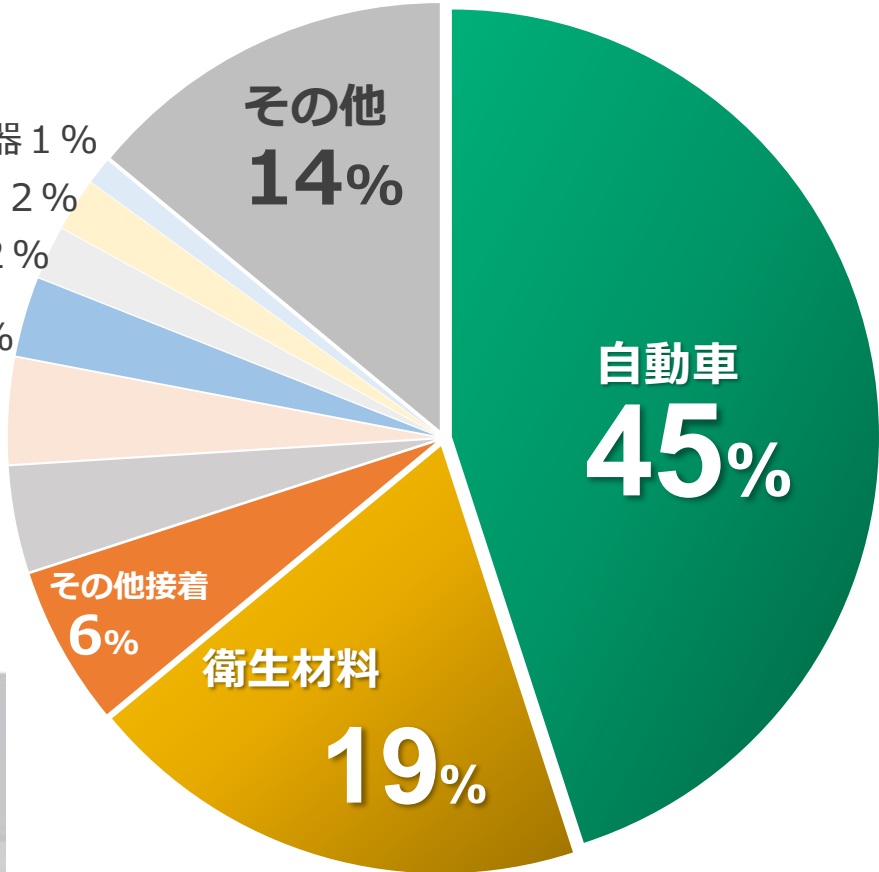
油への溶解性に優れた工業用の界面活性剤  
乳化剤、中和・分散剤、防錆・防腐剤等、様々な用途に展開



➤ 自動車関連分野における売上高が4割強



情報機器 1%  
化粧品・トイレタリー 2%  
冷熱媒体 2%  
ポリスチレン 3%  
鉄鋼 4%  
真空機器 4%



注) 2024年2月期連結売上高に基づき作成

# 目次

● 会社概要

● **第10次中期経営計画の概要**

● 株主還元

## 第10次中期経営計画のテーマ

# 「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立

### 基本方針

### 主要な取り組み

#### サステナビリティ経営の推進

- ・カーボンニュートラルの推進・MGS製品売上比率の引き上げ
- ・環境負荷低減への取り組み

#### 製品ポートフォリオの高度化

- ・高付加価値製品の開発と売上拡大・サーキュラーエコノミーへの対応

#### 次世代事業の創出

- ・ライフサイエンス事業への注力・非石化材料創出技術の開発
- ・ペロブスカイト太陽電池関連の事業推進

#### 業務プロセスの革新

- ・生産プロセスの革新・DX化の推進・物流問題への対応

#### 資本収益性の向上

- ・PBR改善に向けた施策・株主還元・人的資本経営の推進・IR活動の強化

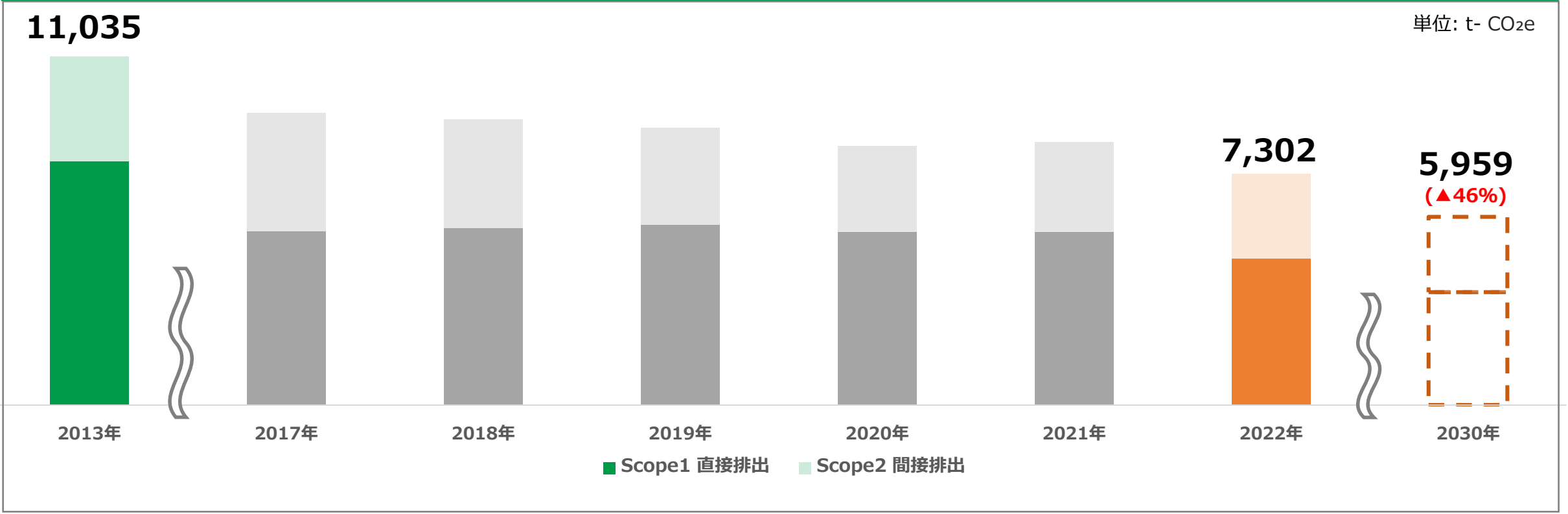
# サステナビリティ経営の推進-カーボンニュートラルに向けた取り組みMoresco

- 2030年度までに自社消費エネルギーによるGHG排出量を46%削減（2013年度対比）
- 2050年度までにScope1・2・3を含めてカーボンニュートラルを実現



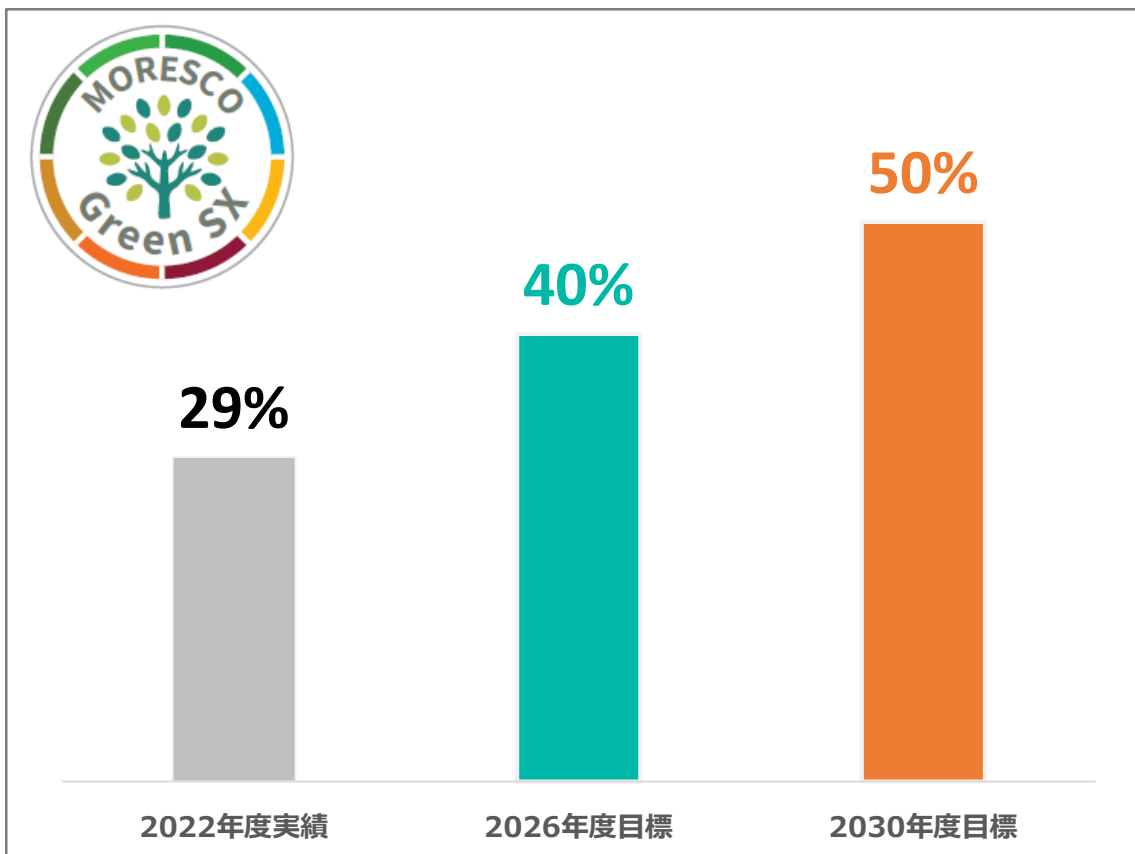
2022年11月11日賛同表明

## Morescoグループ（国内）のScope1,2GHG排出量推移



- 2030年度目標の達成に向けて、既存製品の改良、新製品の開発の取り組みを推進
- 付加価値の高いMORESCO Green SX製品の売上拡大により製品ポートフォリオの高度化を進める

## 売上比率目標



## 代表製品

水溶性少量塗布型離型剤  
グラフェスMQシリーズ

省エネルギー

環境保全

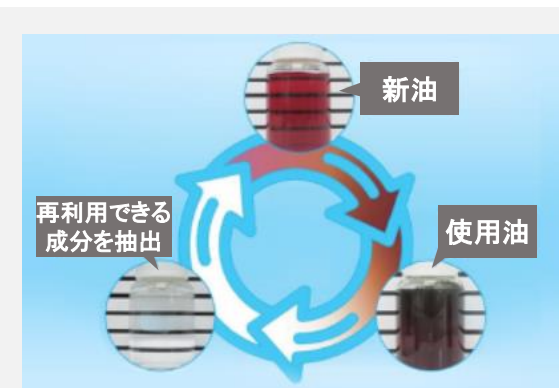
作業環境改善



水-グリコール系難燃性作動液  
ハイドール

CO<sub>2</sub>排出抑制

環境保全



## ➤ 気候変動及び生物多様性に貢献



廃水削減量  
**200**T/年

GHG削減量  
**7.5**T/年

\* ダイガストマシン 1 台当たりの計算数値

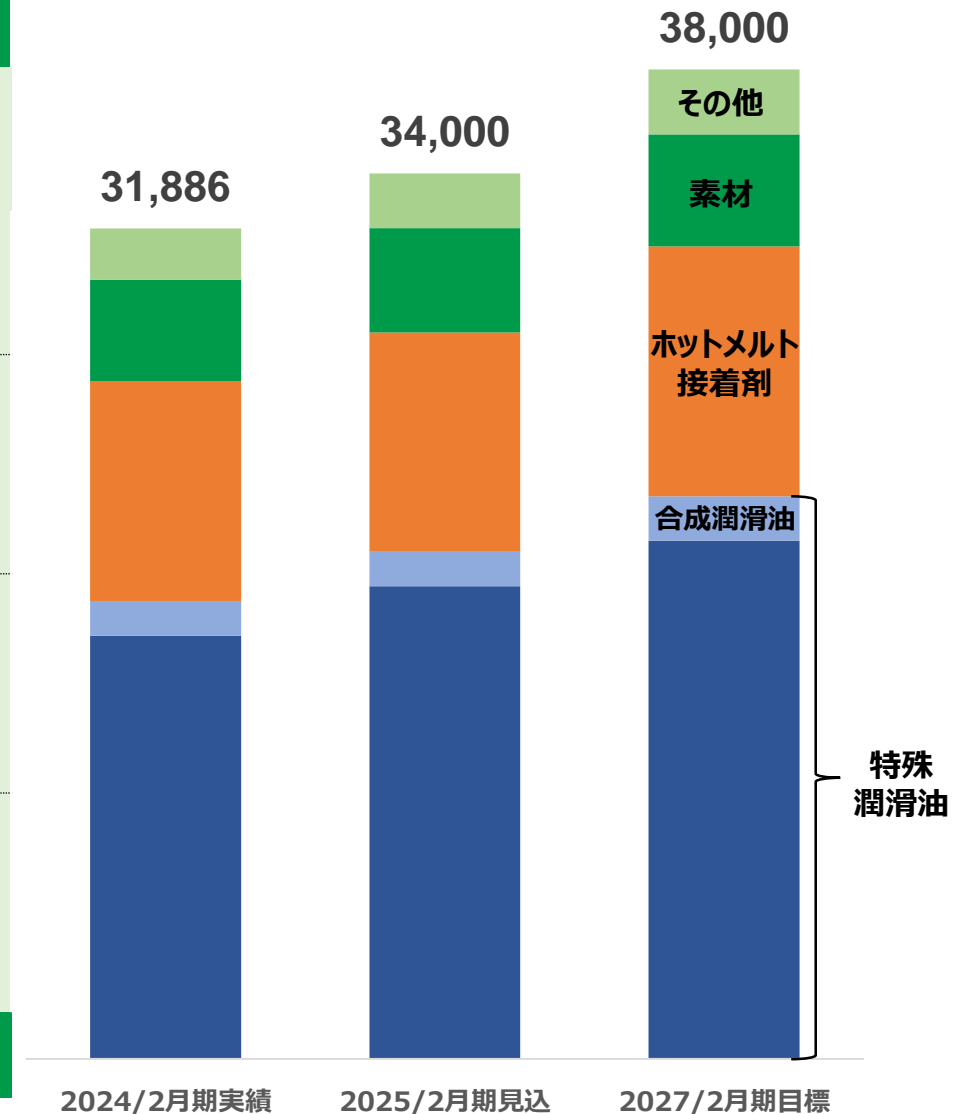
単位:百万円

		2024年2月期 実績	2025年2月期 予想	2027年2月期 計画
<b>業績</b>	売上高	31,886	34,000	38,000
	売上高成長率	-	7%	6%
	営業利益	1,225	1,500	2,700
	営業利益率	3.8%	4%	7%
	経常利益	1,826	1,850	3,000
<b>資本効率性</b>	ROE	6.6%	-	8%水準
	連結配当性向	32.4%	39.3%	30%以上
<b>非財務目標</b>	MGS製品の売上比率 (2022年実績)	29%	-	40%
	GHG排出量削減率 *2013年度対比 (2022年実績)	34%	-	-

# 第10次中期経営計画-部門別売上高

部門	2024年2月期 実績	2025年2月期 見込	2027年2月期 目標
特殊潤滑油	17,584	19,500	21,600
(うち合成潤滑油)	(1,337)	(1,350)	(1,700)
ホットメルト接着剤	8,430	8,400	9,600
素材	3,909	4,000	4,300
その他 (子会社含む)	1,963	2,100	2,500
<b>合計</b>	<b>31,886</b>	<b>34,000</b>	<b>38,000</b>

(単位:百万円)



## ➤ 成長戦略と資本・財務戦略の両輪で進め、「資本収益性の向上」を実現する

### 成長戦略

#### サステナビリティ経営の推進/製品ポートフォリオの高度化/次世代事業の創出

- 高付加価値製品であるMGS製品の開発及び販売
- 製品ポートフォリオ高度化の推進
- ライフサイエンス事業におけるナノエマルジョン製品の上市、オートファジー活性化薬の導出
- 東南/南アジア・北米・中国を極とした海外成長市場の事業拡大

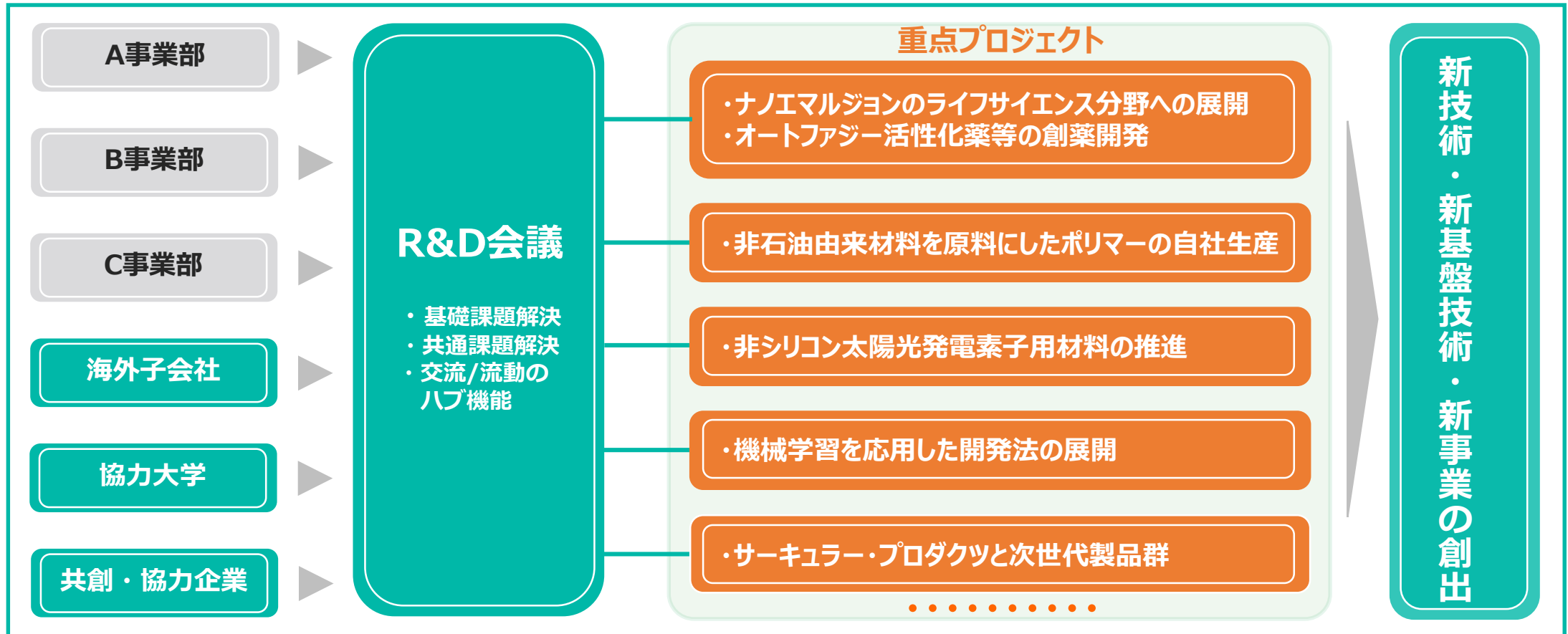
### 資本・財務戦略

#### 収益性改善施策の推進/株主還元/人的資本経営/IR活動の強化

- 各事業部門の収益性改善に繋がる施策の推進（ROIC指標の活用等）
- 株主還元を経営上の重要課題と位置づけ、連結配当性向30%以上を目指した配当政策の実施
- 人的資本経営の推進
- IR情報の充実と投資家との積極的な対話の実施

- 事業部を横断し、社内および産官学と連携した開発体制を整備。重点プロジェクトは臨機応変に見直しを行う
- 全社横断的なプロジェクト MOLGADC※を推進し、成果に繋げる

## 「プロジェクトMOLGADC」の全体像



※当初5つの重点プロジェクトの頭文字から命名。現在8つまで拡大

## ナノエマルジョンの商品化

- 大手化粧品メーカーの採用に応じた量産体制の整備
- CBD(カンナビジオール)内包ナノエマルジョンの開発
- ナノエマルジョン配合の自社化粧品の開発

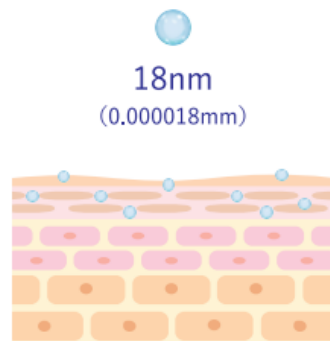


近時上市予定

### 「イリグラシア」 肌へのアプローチ技術

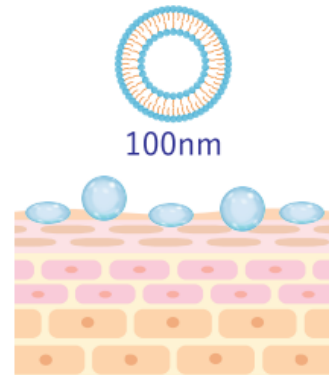
独自のナノシステムで驚きの浸透力\*1  
必要なところへ届けて補う技術を搭載

イリグラシアのナノシステム



\*1 角質層まで

リポソーム化技術



イメージ図

## 創薬分野での特許出願

- 2020年7月に大学発ベンチャー(株)AutoPhagyGOに出資し、共同研究開発を開始
- 2024年2月末にオートファジー促進剤に関する第一弾特許を出願



- オートファジー研究とは、老化に関連する様々な現象や疾患の予防・治療へつながる研究です
- 共同研究では、生活習慣病改善を期待できるオートファジーを対象とした創薬活動を進めています
- 薬理活性が向上した重要化合物の取得を目指しています

➤ 桐蔭横浜大学の宮坂教授が立ち上げたコンソーシアムに参画。2026年以内のペロブスカイト太陽電池の実用化を目指し、高機能な封止材で貢献

## コンソーシアムに参画

### コンソーシアム

ペクセル・テクノロジーズ  
(代表：宮坂教授)

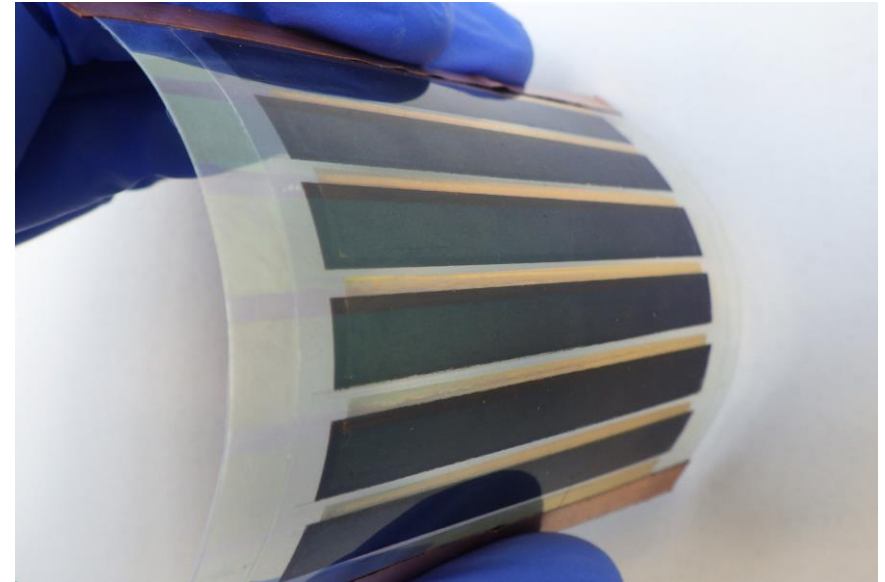
株式会社 MORESCO

株式会社 マクニカ

株式会社 麗光

三菱ケミカル 株式会社

## 次世代太陽電池「ペロブスカイト」試作品



(出所：桐蔭横浜大学)

### 当社封止材の特徴

1. 直接貼り合わせでもペロブスカイト素子にダメージを与えない
2. 基材に貼り合わせるだけで優れた密着性を発揮(加熱やUV処理が不要)

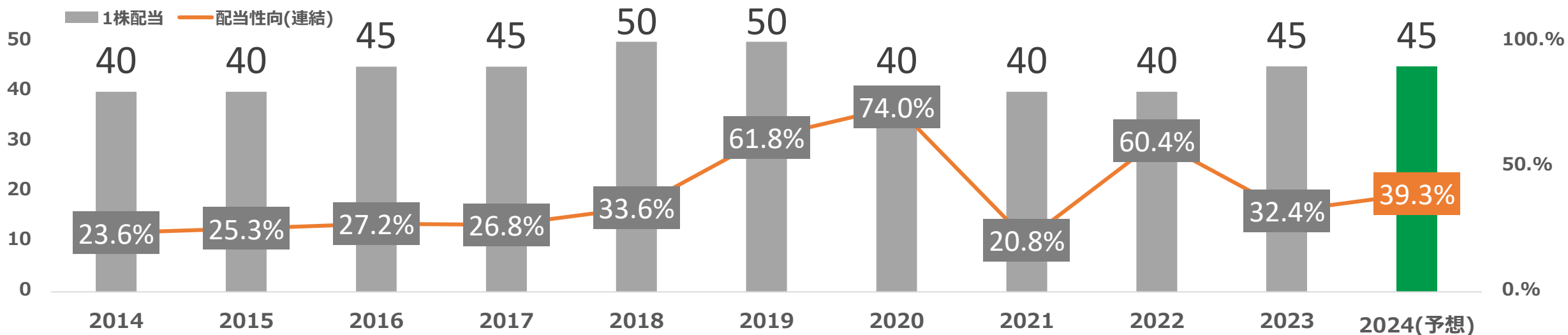
# 目次

● 会社概要

● 第10次中期経営計画の概要

● 株主還元

- 株主還元を経営上の重要課題と位置づけ、適正な内部留保に努めつつ利益還元を行う
- 連結配当性向30%以上を中長期的に目指した配当を行う



## 株主優待

**対 象**：毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された**300株以上**の当社株式を保有されている株主様

**優待内容**：300株以上かつ**継続保有期間3年未満** **QUOカード 3,000円分**

300株以上かつ**継続保有期間3年以上** **QUOカード 4,000円分**

\*毎年2月末日を基準日として年1回実施、5月下旬に事業報告書に同封してご送付

## 4年連続認定

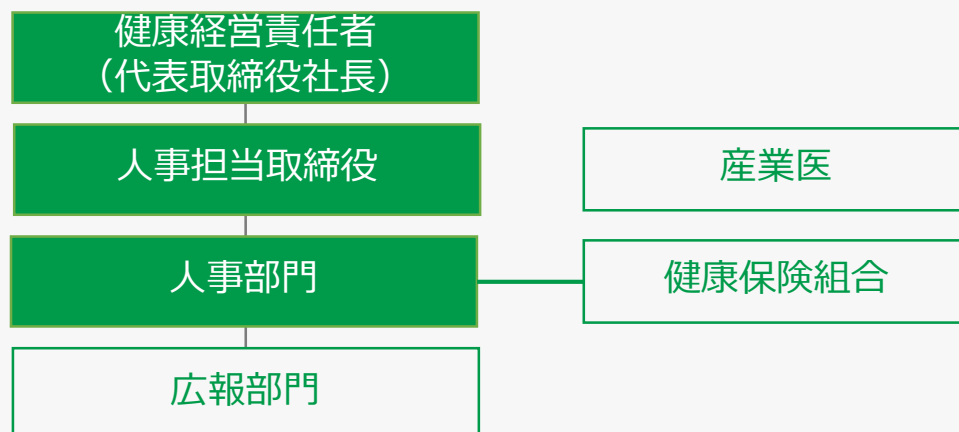
### 健康経営優良法人(大規模法人部門)



### 健康経営宣言

MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

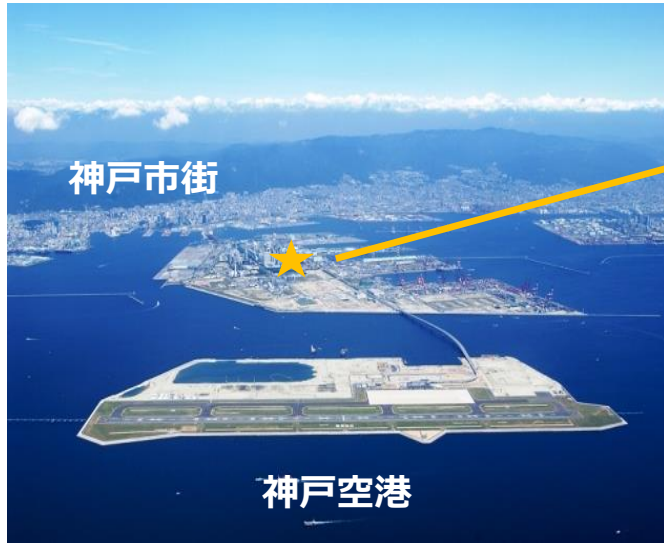
### 体制



### 取り組み

- ▶ 介護・育児時短勤務制度・フレックスタイム制度
- ▶ 全従業員有給休暇取得率向上の推進（目標60%以上）
- ▶ ストレスチェックの定期実施

	2021年度	2022年度	2023年度
有給休暇取得率	73%	74%	76%
男性の育児休業取得率	27%	63%	67%



- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。